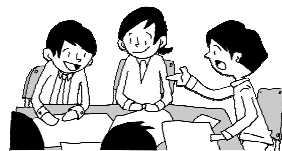


矢野中通信 5月号

本年度の学校協力者会議委員を紹介します。

5月27日(水)、第1回学校協力者会議を開催し、下記のとおり委員長・副委員長を選出しました。本校は、本年度重点目標を「学び合う授業の創造」と掲げ、授業改善に取り組んでおり、具体的な方策づくりができるよう委員の皆様から様々な提言をいただきます。



	名 前	所 属 団 体 等
評価部会	◎ 小西 清彦	学識経験者
	三宅 俊直	矢野南小学校 校長
	秋田 勇治	矢野中学校PTA 1年幹事
	入井 玲子	矢野中学校PTA 2年幹事
	新谷 留美子	矢野中学校PTA 3年幹事
提言部会	○ 川田 秀司	矢野中学校PTA 会長
	角 伸二	矢野公民館 館長
	森重 宏子	矢野地区民生委員児童委員協議会 会長
	黒瀬 憲之	矢野南地区青少年健全育成協議会 会長
	河野 智之	矢野中学校PTA 前会長
	天部 満	少年補導協助員

◎委員長 ○副委員長

「床の光は心の光」 ～床を磨くことは心を磨くこと～

初夏を迎えると、ほのかな苦みのある茗荷^{みょうが}という野菜がおいしい季節になります。「茗荷をたくさん食べると物忘れをする」と昔から言われてきましたが、茗荷とは、とても物覚えの悪いお坊さんにつけられたあだ名のことです。自分の名前も覚えることができないため、仲間が名前を書いて荷物のように首にかけさせていたので、茗荷と呼ばれていました。

そのお坊さんが仲間からいじめられたので、修行をやめようと泣いていると、お釈迦様が1本のホウキを渡し、「修行をやめることはない。このホウキで一生懸命掃除をなさい。心のゴミも捨て去るのです。」と言いました。そのお坊さんは、毎日毎日、そのホウキで掃除をしたおかげで悟りを開き、立派なお坊さんになりました。

日本の学校では、昔から掃除の時間がありますが、掃除は人格形成のうえで大切なものであり心の掃除に通じるものがあると考えられます。昔から「床の光は心の光」と言われており、床を磨くことは同時に心を磨くことでもあるのです。



生徒会美化標語 (美化整備委員会)

1年最優秀作品

「心がけ地球を守るゴミ拾い」
1年7組 森野耕己くん

2年最優秀作品

「ピカピカの校舎にひびく笑い声」
2年4組 助金ひまりさん

3年最優秀作品

「綺麗にしよう、教室、学校、自分の心」
3年2組 増野友大くん

